

経営会議の内容

件 名	(仮称) 第3次大和市子ども読書活動推進計画(案)について
所 管 部	文化スポーツ部 図書・学び交流課
日時・場所	平成28年11月24日(木) 13:00～ 13:45 政策会議室
出 席 者	市長、副市長、教育長、病院長、市長室長、政策部長、総務部長、市民経済部長、環境農政部長、健康福祉部長、こども部長、文化スポーツ部長、街づくり計画部長、都市施設部長、病院事務局長、消防長、教育部長、議会事務局長、図書・学び交流課長
提 出 理 由	(仮称) 第3次大和市子ども読書活動推進計画を策定するにあたり、その内容について了承を得るため
会議経過	<p>【主な意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2次計画では基本方針の最初に環境整備を掲げていたが、第3次計画ではひとつづくりが最初の基本方針となっている。これが今回のメインの柱であるという理解でよいか。 (所管部) そのとおりである。県の第3次計画でも同様の構成となっており、整合を図りながら、本市の取り組みも進めていきたい。 ・この計画は、ひとつづくりがメインの柱となることを考えれば、子どもの保護者や地域の人にもたくさん読んでいただきたいものになるだろう。行政内部の文書ではないので、文章表現はもう少し柔らかくてもよいのではないか。 (所管部) 是非、子どもの読書活動推進を担う人に読んでいただきたい。表現については検討する。 ・第2次計画では、未就学児施設との連携などを実施計画で謳っていたが、第3次計画ではどのようになるか。 (所管部) 第3次計画においても実施計画を策定し、事業を進めていきたい。 ・保護者への意識啓発は大変重要であり、現在は4か月児健診においてブックスタート事業を行っているが、1歳6か月、3歳6か月健診などの機会をとらえて、本に親しむ継続的な取り組みを行う予定はあるか。 (所管部) 現時点では考えていないが、健診の所管部とも相談し、今後検討していきたい。 ・本市の子どもの読書を取り巻く環境は、ここ数年で大きく変化した。今回の計画策定にあたって、その点はどのようにとらえたか。 (所管部) 学校図書館の改修が完了し、文化創造拠点シリウスの図書館も完成した。こうした施設を今後どう活用していくかが重要になる。保護者等に働きかけ、施設を訪れていただく機会を増やすことはもちろんのこと、街角での取り組みなども増やしていきたいと考えている。 ・人材育成に重点を置いていくとのことだが、これまでは読み聞かせボランティアの育成を中心に行ってきたと理解している。今後について、例えば、学校図書館へボランティアを派遣するなどの、具体的なイメージはあるか。 (所管部) 今後は、ボランティアの方々の活躍の場を積極的に創出していきたいと考えている。学校の活用も、そのひとつとして考えていきたい。 ・計画策定に際して国や県の計画を参酌する必要がある一方で、本市の計画としての特徴、独自性はどこにあるか。 (所管部) これまでの重点的な取り組みにより、本市の子どもの読書を取りまく環境は大変充実したものとなった。今回の計画では、それらを活用しながら、保護者等への意識啓発をさらに進めていくことを打ち出した。また、公共図書館と学校図書館等が連携して、子どもや保護者を育てていくことを意識している。

	<p>・子どもの読書活動の基本は家庭ではないか。本市は、家庭環境を問わず、身近な場所で本を手にし、家庭に持ち帰ることができる環境を整えてきた。ひとづくりと表現されているが、目指すべきは、あらゆる子どもを図書館へどう導くか、就学前から図書館へ出掛けることをどう習慣づけていくか、ということだと思う。 (所管部) そうした成果につながるよう取り組んでいきたい。</p>
会議結果	案のとおり、進めていく。